

**NEW**  
アトラクション  
続々追加!!

参加者を満足させる  
3つのドローン  
アトラクション



**ドローンミニレース** 6つの輪を番号順にぐり抜ける、タイムトライアルレース。設置する輪の台数や向きのほか、輪の間隔を調整することによって、難易度を変更可能。参加者を飽きさせない。

**ドローンターゲット**



徐々に狭まる6つの着地ポイントに、制限時間内で何回ランディングできるかを競う。徐々に難易度がアップする設計で、クリアするたびに達成感も高まっていく。

**ドローン9(ナイン)**



大ききの異なる9つの穴を、制限時間内にすべて通り抜けることが目標。ドローンの正確な操作が求められ、操縦に慣れていくにつれて何度も挑戦したくなるほどハマる。

**うまくいく理由 02**



丁寧に指南するスタッフは落下した機体の救出も手助け!

飛行時間が記録されるので競争心に火が付く!

記事担当の家族が同サービスを体験&潜入レポート!

**ドローンを操縦した参加者が大満足できるから!**

満足度が高い大きな理由は、安全かつ安心して楽しめるから。ネットで囲まれたゲージ内を飛ばすため、操縦者や観客にドローンが当たる心配はゼロ。プロペラが露出せず、安定飛行が得意な「DJI Neo」を使っていることから、小学5年生と小学6年生は操縦体験を安心して楽しめた。なお、実際に行なわれたイベントでは、参加者が操縦している様子を周囲の観客も興奮しながら見守り、ドローンが無事にゴールすると拍手喝采! イベント全体が盛り上がるアトラクションなのだ。

**うまくいく理由 03**

**イベント企画の相談から設営や運営支援までお任せできるから!**

「ドローンレースlight」はダスキンに運営を丸ごと任せられるのが、イベント主催者にとって大きな魅力のひとつ。企画段階から相談に乗ってくれて、最小2名のスタッフによる搬入から設置、ドローンの設定までが約1時間で完了! 設置後は機体やバッテリーを入念に確認し、本番中には遊び方を丁寧に説明するとともに、バッテリーの交換や待機列の整理なども行なう。こういった対応ができるのは、安全かつ楽しいイベントを運営できるノウハウを、同社が持っているからこそ!

**①ドローンの設定**



**②テントやネットを張る**



**③人工芝を敷く**



**④用具を置く**



マンネリな企画を脱却したいイベント主催者必読!

# ダスキンレントオール「ドローンレースlight」でうまくいく!

イベントの集客UPは

ここ数年、商業施設や公園などではイベントが盛んに開かれており、来場者の心を掴む新しい仕掛けが求められている。ダスキンのレントオール事業が展開する「ドローンレースlight」はそんな要望に応える新サービス。現場取材し、ドローンレースも試してみたところ、イベントのマンネリ化防止や集客UPが大いに期待できる内容だった!

**うまくいく理由 01**

**子供やお年寄りも満喫!! イベント全体の間口が広がりもっと盛り上がるから!**



参考同会社  
トイドローンプログラミング  
(2025年3月29日、30日開催)  
開催地はイオンモール北戸田。初日はドローンのプログラミング&操縦、2日目はトイドローン操縦を体験でき、主な対象の小学生を中心に、延べ100名を超える幅広い層が参加した。



九州電力  
Qでんファミリーフェスタ内 ドローン操縦体験  
(2025年4月20日開催)  
九州電力鹿児島支店で行なわれたイベントで、ドローンを使った魚釣りゲームを体験できるコーナーには、225名が参加。「普段はできない体験ができて楽しい!」という声も聞かれた。

ドローンが飛んでいる様子は、誰もがつい目を奪われるほど好奇心を刺激するもの。法規制が厳しく、操縦する機会はもちろん、飛行中の機体を間近で見ることすら少ないからこそ、ドローンに触れられる体験は貴重だ。そのことから、各地で開催されるドローンの体験企画は盛況。小中学生からシニアまで幅広い層が参加している。「親も楽しめた」や「見ているだけでテンションが上がる」と評判もいよいよだ。



RED TOKYO TOWER FPVドローン体験会  
(2025年4月9日開催)  
開催地はRED TOKYO TOWER SKY STADIUM(東京タワーフットタウン5F)。FPVゴーグルを使ってドローン目線で操縦できる内容に、親子連れや外国人観光客などが参加。エキシビジョンマッチも開催され、大いに盛り上がった。

ダスキンレントオールの新サービス「ドローンレースlight」とは?



2025年2月に開始した新サービスで、誰でも簡単に楽しめるドローンアトラクションをパッケージ化。ドローン本体をはじめとする機材レンタルと、遊び方・ルールづくり・本番時の操作説明などの開催サポートを行なう。屋内外を問わずに様々なイベントで実施可能だ。全国に展開しているダスキンレント奥ールの店舗で受付中。

【利用料金イメージ】  
屋外での利用時  
1泊2日標準レンタル料金(一部販売品を含む)  
合計 24万7880円



ドローン・リモコン・充電器などで構成される「ドローン基本セット」と、参加者が安全に楽しむための「ネット・人工芝をまとめて借りられる「プレイ用ゲージセット」。これらをまとめたセット料金が上記のもの。

企画者インタビュー

こだわったのは安全性!  
同社の今までの実績もサービスには生かされている

コロナ禍明けのイベント市場はかつてない盛り上がりを見せている。ダスキンでもイベント主催者からの相談や受注がひっきりなしのようだ。その一方、イベント関係者の間では「ネタ切れ」が課題となってきた。同社レントオール事業部の堀山和也さんは話す。「以前に実施したものと異なるアトラクションを求めるところが、年々強まっていると思います」

そんな背景から同社は「ドローンレースlight」のサービスを開始。「ドローンを操縦してみたいけれど機会がない」という潜在ニーズに対応し、子供から大人まで幅広く楽しめるアトラクションだ。

「ストラックアウトや輪投げなど、弊社が今まで手がけてきたアトラクションの運営ノウハウを、同サ



ダスキン  
レントオール事業部  
事業企画運営室 室長  
堀山和也さん

ービスにも生かしています。3種類のドローンアトラクションは、若手からベテランまで幅広い弊社社員による検証を重ねて選びました。イベントでも大好評です」

「1日で何人が体験できるか」といった不安に対して、同社では豊富な経験値でプラン作成が可能。実際MCをアテンドしたりBGMを流したりと、会場をより盛り上げるオプションも用意する。

「価格は基本セットで24万円強からと、決して安価とは言えませんが、それでも「スペースさえあれば丸ごと任せられ、集客も見込める」という弊社のサービスに対して、イベント主催者様には価格以上の魅力を感じていただいています」

料金については、現場に配備する人員数の調整などにより、ニーズに合わせてカスタマイズできるとか。イベント主催者は、まずは一度相談し、同サービスの導入を検討してみたいかがだろうか。